

## 2022年度エイズ電話相談事業報告書

■ 概要 1995年1月から開始し、毎週火曜日夜7～10時に、相談員が交代でローテーションに入り、電話相談を行っている。  
2022年度は、相談員3人(沼田・秋山・長谷川)体制で相談を受けた。

■ 目的/経過 HIV感染に対する不安を持つ人、感染後のサポートを求める人に対する相談。

■ 結果/効果 2022年4月～2023年3月の電話相談集計結果

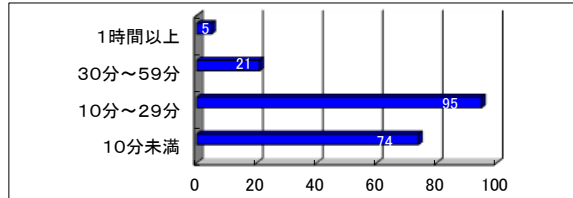
合計件数 195件

### 1、時刻

時刻	件数	割合
7:00～8:00	91	46.7%
8:00～9:00	56	28.7%
9:00～10:00	48	24.6%
合計	195	100.0%

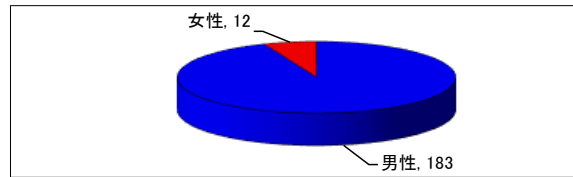
### 2、時間

時間	件数	割合
10分未満	74	37.9%
10分～29分	95	48.7%
30分～59分	21	10.8%
1時間以上	5	2.6%
合計	195	100.0%



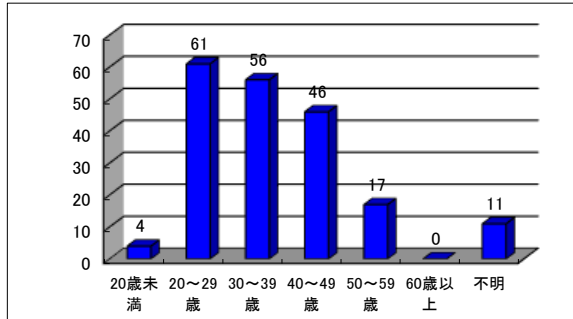
### 3、性別

性別	件数	割合
男性	183	93.8%
女性	12	6.2%
他	0	0.0%
不明	0	0.0%
合計	195	100.0%



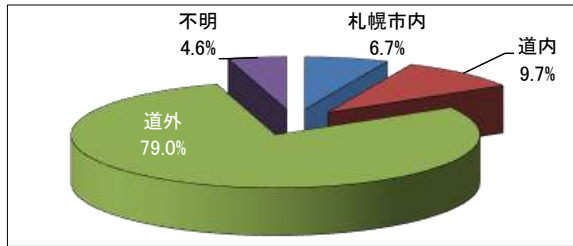
### 4、年齢

年代	件数	割合
20歳未満	4	2.1%
20～29歳	61	31.3%
30～39歳	56	28.7%
40～49歳	46	23.6%
50～59歳	17	8.7%
60歳以上	0	0.0%
不明	11	5.6%
合計	195	100.0%



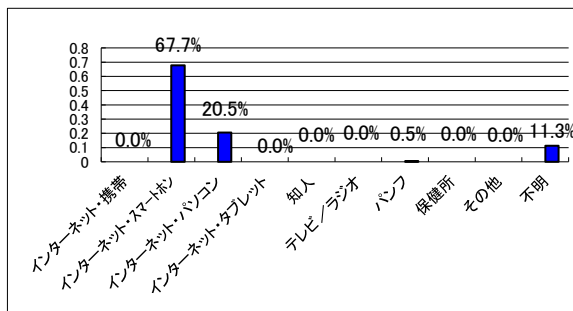
### 5、地域

地域	件数	割合
札幌市内	13	6.7%
道内	19	9.7%
道外	154	79.0%
不明	9	4.6%
合計	195	100.0%



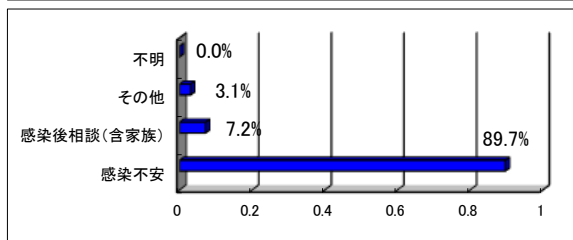
### 6、情報源

情報源	件数	割合
インターネット・携帯	0	0.0%
インターネット・スマートフォン	132	67.7%
インターネット・パソコン	40	20.5%
インターネット・タブレット	0	0.0%
知人	0	0.0%
テレビ/ラジオ	0	0.0%
パンフ	1	0.5%
保健所	0	0.0%
その他	0	0.0%
不明	22	11.3%
合計	195	100.0%



### [相談内容]

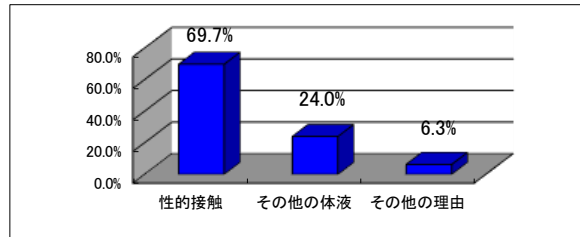
相談内容	件数	割合
感染不安	175	89.7%
感染後相談(含家族)	14	7.2%
その他	6	3.1%
不明	0	0.0%
合計	195	100.0%



## 1、感染不安の不安要因

※相談内容「感染不安」の内の不安要因

	件数	割合
性的接触	122	69.7%
その他の体液	42	24.0%
その他の理由	11	6.3%
合計	175	100.0%



## 2、検査についての相談

	件数
あり	67
なし	108
合計	175

## 3、他の性感染症についての相談

※不安要因が「性的接触」の内の相談

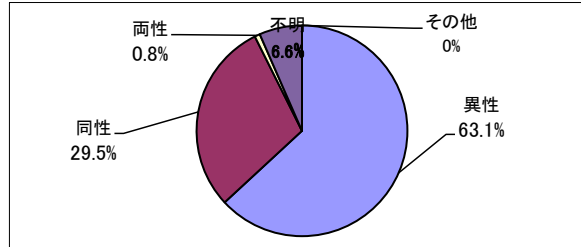
	件数
あり	17
なし	158
合計	175

## 4、エイズ不安症候群

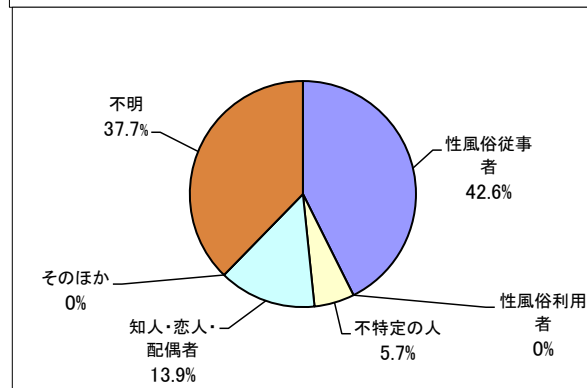
	件数
あり	11
なし	164
合計	175

## 5、性行為の相手

	件数	割合
異性	77	63.1%
同性	36	29.5%
両性	1	0.8%
不明	8	6.6%
その他	0	0.0%
合計	122	100.0%



	件数	割合
性風俗従事者	52	42.6%
性風俗利用者	0	0.0%
不特定の人	7	5.7%
知人・恋人・配偶者	17	13.9%
そのほか	0	0.0%
不明	46	37.7%
合計	122	100.0%



## 6、行為内容※コンドームに関して

	不使用	最初から使用	途中から使用	さけた・はずれた	つけたりつけなかったり	不明
膣性交	25	15	2	0	1	0
肛門性交	10	0	0	1	2	0
フェラチオ	25	6	0	0	0	4
クニニリングス	7	0				
素股	12					
キス	15					
その他	29					

※月別件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期計	年間計
10	19	12	13	23	14	91	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	後期計	
19	17	15	12	24	17	104	195

## ■分析

・件数は昨年度の210件(一日平均4.2件)から195件(一日平均3.8件)と年間受付件数は減少した。

(昨年度は年間50回、今年度は年間51回の相談受付日数)

新型コロナの第6波～第8波のピークから収束にかけて自粛ムードの高まりから性交渉の機会が減ったことが相談件数の減少につながったと考えられる。

また、第6波～第8波にかけての相談では、新型コロナの自己検査キットで陰性だったことからHIVの初期症状を疑っている相談もみられた

・国内でのPrEPおよびPEP(nPEP: 性行為による暴露後予防)を診断・処方するクリニックが広がり、

2023年1月には札幌市内でPrEPを処方するクリニックができた。

しかし処方されているクリニックでのフォローが十分とは言えないケースもあり、

今後もPrEP・PEPに対する知識の拡充と適切な対応を当電話相談では心がけていきたい。

・情報源としては、インターネット(携帯・スマホ・PC・タブレット)からが87%を占めている。当会ではインターネットでのアクセス向上を目指しているが

電話相談件数の回復には至っていないため、今年度はさぼーとほっと基金を活用して広報資材を制作した。

次年度以降イベント等で配布を行い、さらなるアクセス向上に努めたい

・2022年度の相談員は3名体制を維持できた。引き続き受話体制の整備及び受話品質向上に努めていきたい。

次年度からは相談員1名の転勤により、再び2名体制となるため、新たな相談員の確保・育成が急務となっている。